

# 高温登熟性に優れる極良食味の水稲品種「いちほまれ」

## 1. はじめに

近年の夏の高温により全国的に米の品質の低下が問題視される中で「コシヒカリ」を超えることを目標とし、極良食味の水稲品種を育成しました。

## 2. 生育特性

出穂期は「コシヒカリ」より5日遅い“晩生の早”です。稈長は「コシヒカリ」より短く“中”、穂長は「コシヒカリ」と同程度の“中”です。穂数は「コシヒカリ」と同程度、草型は“中間型”です。耐倒伏性は「コシヒカリ」より強く“強”です(写真1、第1表)。葉色は「コシヒカリ」、「あきさかり」より淡く経緯します。

収量性は「コシヒカリ」対比で103%です。

## 3. 病害抵抗性

いもち病真性抵抗性遺伝子は“*Pita-2*”を持ち、一般的には発病しません。



写真1 左：いちほまれ  
右：コシヒカリ

## 4. 玄米品質

玄米外観品質は「コシヒカリ」に比べ、高温登熟耐性に優れるため腹白、乳白、背白が少なく、良好です。穂発芽性は「コシヒカリ」と同程度の“難”です。千粒重は「コシヒカリ」と同程度です。(写真2、第1表)



写真2 左：いちほまれ  
右：コシヒカリ

## 5. 食味特性

「いちほまれ」は場内の食味試験では、「コシヒカリ」より高く評価されるとともに、日本穀物検定協会の食味ランキングでも、平成29年、平成30年と特A評価を得ています。

第1表 「いちほまれ」の品種特性

品種名	出穂期 月.日	成熟期 月.日	稈長 cm	穂長 cm	穂数 本/m <sup>2</sup>	精玄 米重 kg/a	比率 %	耐倒 伏性	穂 発芽 耐性	いもち病 真性 抵抗性	千粒 重 g	食味試験 総合評価
いちほまれ	8.04	9.12	78	19.4	406	61.7	103	強	難	<i>Pita-2</i>	23.6	+0.47
コシヒカリ	7.30	9.04	91	18.7	432	59.8	100	弱	難	+	23.3	-

2015-2017年平均。移植日：5月15日。基肥(kg/a) N:0.50、P:0.58、K:0.50 穂肥(kg/a) N:0.40、P:0.13、K:0.40  
食味試験はパネル18名で「コシヒカリ」を基準として評価した。